

平成28年度第1回常陸太田市総合教育会議 会議記録

開催日時 平成28年7月11日（月） 午後3時57分～4時47分（50分）

開催場所 常陸太田市役所 全員協議会室 （4階）

出席者 大久保太一市長、小林憲男教育委員長、佐川美都里委員長職務代理者、大金隆子委員
稲田昌孝委員、中原一博教育長（6名）

教育委員会事務局

菊池教育次長、江尻教育総務課長、西連寺指導室長、関生涯学習課長兼生涯学習センター館長、大畠文化課長、木村スポーツ振興課長、金澤図書館長、増山学校給食センター所長

庶務 教育総務課（弓野副参事兼課長補佐、大須賀企画総務係長）

会議経過

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 教育委員長あいさつ
4. 案件
（1）常陸太田市学校施設整備計画について（教育次長から説明）
5. その他

（市長あいさつ）

平成28年度第1回「総合教育会議」の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

小林教育委員長さんを始め教育委員の皆様には、日ごろより市政の運営、特に教育施策の推進のため、御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。また、本日は、お忙しい中、本会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、振り返りますと昨年4月に、「地方教育行政法」が改正されまして、これまで以上に、地方公共団体の長と教育委員会との連携強化が求められたわけであります。

この法改正により、「総合教育会議」が設置され、本市においても、教育施策の方向性を明確にする「教育大綱」を策定しまして、教育施策の推進に取り組んでいるところであります。

また、市長部局といたしましては、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画の期間とした、「第5次総合計画」の成果と課題、加えて、昨年度に策定した教育大綱の理念・考え方を踏まえながら、現在、本市の第6次総合計画の基本構想について、協議検討を進めているところであります。本市では、これまで医療・福祉の充実、あるいは「子育て上手常陸太田」について、積極的に子育て支援施策を推進してきたところでありますが、これらについては、市民アンケートにおける満足度ポイントが上昇するな

ど、施策について一定の成果が現れている状況でございます。

しかしながら、一方では、合計特殊出生率が依然として非常に低い値であります。本市の場合、1.03であり、県の平均値を下回っております。引き続き、少子化・人口減少への対策が必要となってまいります。人口減少対策につきましては、それぞれの部署で担当している施策が有機的に結び付いて、実効が上がりなければ歯止めはかからない厳しい状況であると考えております。そのためには、子育て家庭への経済的支援のみならず、道路の整備や労働人口の確保など、地域経済の好循環を生み出し、市民の誰もが幸せを感じ、豊かに暮らせるまちづくりを推進していくことが必要であると考えております。

教育施策については、学校の環境整備、とりわけ、学校統廃合の問題が大きな課題の一つとなっております。本日は、この「総合教育会議」で、教育委員会と市が連携・協力をし、さまざまな議論を交わし、より良い教育の方向性を見出すことができるよう期待をしているところでございます。

皆様のご協力をお願いして、挨拶に代えさせていただきます。

(教育委員長あいさつ)

教育委員会を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年度、地方教育行政法の改正に伴いまして、教育委員会の制度改革があり、本市においても総合教育会議が設置されました。昨年度はその総合教育会議を通して、本市の教育大綱が策定されたわけでありま。そして本日、大久保市長を交え、今年度第1回目の総合教育会議が開催されますことをとても喜ばしく思っております。

さて、少子高齢化、人口減少社会を迎え、教育をめぐる環境は大きく変化をしているのではないかと思っております。このような中、さまざまな教育課題にしっかりと対応していくことが重要となってまいります。とりわけ、学校の教育環境については、学校の適正規模・適正配置の考え方、また、これによって必要となる「学校統廃合の問題」がこれからの大きな課題となってくることと感じております。

昨年度は学校施設検討協議会が設置され、地域の方々や保護者の代表の方、学校関係者において、学校施設の在り方に関していろいろな意見を取りまとめられてきました。

本日は、この総合教育会議において、「学校施設整備計画」について大久保市長と意見交換を行い、共通の認識を持つことが出来るということは、私たち教育委員にとっても大変有意義であると感じております。大久保市長からご助言をいただきながら、本市の教育大綱の基本理念である「夢を育み 豊かに生きる人づくり」の実現に向けて、教育委員会、皆で協力をし、取り組んでいく所存でありますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げあいさついたします。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

【案件】

（教育次長）

それでは、早速案件に移りますが、まず、最初に本日の配布資料の確認をさせていただきます。お手元に4点ほど提出させていただいておりますが、1次第、裏面が本日の出席者名簿となっております。次に2常陸太田市学校施設整備計画（案）、全体で19ページになっている資料です。次に3学校施設整備計画（案）の概要ということで2枚にまたがる資料、最後に4学校施設検討協議会から提出されました意見書、こちらは平成27年度末に検討協議会会長より提出されたものとなっております。以上の4点でございます。

それでは、早速協議に移ります。本会議の設置要綱第4条に会議は市長が招集する、会議の議長は市長をもって充てるとされておりますので、大久保市長に議長をお願いし、会議を進めていきます。よろしくお願いいたします。

（市長）

それでは、会議を進めさせていただきます。次第にありますように、（1）常陸太田市学校施設整備計画について、事務局から説明をしていただき、委員の皆様からの質疑等をお受けしていきたいと思っております。それでは、事務局から説明願います。

（教育次長）

それでは学校施設整備計画について説明させていただきます。

計画策定の背景ですが、少子化の影響により児童生徒・園児数が減少し、学校の小規模化が進んでおります。今後将来においても、その傾向が続くものと推測され、子どもたちの教育活動という観点から様々な課題が生じてくることが懸念されます。

市といたしましては、子どもたちにとって、より望ましい教育環境を整えるため、昨年8月、地域住民、学校関係者、保護者、それぞれの代表者から成る「常陸太田市学校施設検討協議会」を設置いたしました。この中で、約1年間、これからの学校の在り方や施設整備の基本的な在り方に係る意見を取りまとめ、昨年度末、学校施設検討協議会から意見書をいただいたところであります。今年度、この意見書を踏まえながら、適正規模・適正配置に向け、今後、早期に、あるいは中長期に取り組む方向性として、学校施設整備計画を策定するものであります。策定後は、学校統廃合について、保護者や地域住民を対象とした説明会や懇談会を行い、たくさんの方面から意見をいただき合意形成を図っていききたいと考えているものです。

それでは、最初に学校施設整備の基本的な考え方ではありますが、小・中学校の場合、学校生活で仲間づくりができるよう1学級20人～30人程度を適正規模とする、複式学級が2学級になる前に解消措置を講ずる、地区の小中学校児童生徒の推移を把握しながら、小中一貫教育の導入を進めていく、と以上3点を掲げております。次に幼稚園ですが、園児数の減少により混合保育を実施している幼稚

園や園舎の老朽が進んでいる幼稚園については、統合や廃園を検討する、その場合、認定こども園への移行について検討を進めていく、としております。

次に、適正規模、適正配置の保持にあたっての留意事項ですが、4点掲げています。1つ目に学区制度のことですが、これまでの地域の生活圏を考慮し、原則、現在の学区制度を維持していきたいと考えております。ただし、地理的な事情によっては学校選択制の導入について検討を進めていきたいと考えております。2つ目には、適正配置ですが、地理的歴史的な成り立ちの生活文化に配慮する観点で適正配置を進めること、3つ目には、金砂郷地区・水府地区・里美地区のそれぞれについては、小学校・中学校ともに最低1校ずつ残すこと、最後に4つ目に、通常は住所地からなる就学すべき学校の指定がございますが、ある学校に特色ある教育カリキュラムを設け、通常の学区を飛び越えて他学区からでも入学ができる「特認校制度」というものを導入することにより、教育環境の充実に努めることを検討していくこと、以上4点を適正規模、適正配置の保持にあたっての留意事項といたしました。

次に今後、統廃合にあたっての留意事項ですが、こちら4点ほど挙げておりますが、1点目に通学距離や通学時間拡大への対策、支援措置について、2点目に施設や通学路の安全確保等の教育環境の改善に努めること、3点目に保護者や地域住民、関係団体等の意見を把握し、継続した取組が行われるよう配慮すること、最後に4点目、こちらは施設の跡地利用になりますが、学校が地域コミュニティの核としての性格を有してきたことに配慮し議論を進めていくこと、以上の4点であります。

続いて、学校統廃合の実施計画ですが、早期的統廃合と中長期的統廃合の2区分において計画を方向付けしております。資料の6ページになりますが、早期的統廃合については、平成30年度、水府小と山田小の小学校統合と水府中学校との小中一貫教育の実施を計画しております。これについては、現在、水府小学校については2年生と3年生の2学級が複式学級となっておりますが、さらには平成30年度には複式学級が2学級できることが想定されています。また、山田小学校については平成30年度から複式学級ができることが予想されております。以上のことから、両校の統合を進めていきたいと考えております。その際、統合に当たっては、水府地区全体の児童生徒数の推移を見込み、活気ある学校生活の実現を目指し、水府中学校を含めた小中一貫教育の検討を進めたい考えであります。水府中学校校舎、屋内運動場それぞれの施設の老朽化もありますので、施設を小・中一体型校舎に改築し、統合の検討を進めていきたいと考えているものです。

また、水府幼稚園も園児数減少が想定されており、すいふ保育園との幼保一体保育教育ということで、認定こども園への移行を進めていきたいと考えております。こちらについては設置箇所について保護者の就労箇所、通勤経路等のいろいろな事情がありますので、慎重に議論をしていく必要があるものと捉えております。

次に、平成32年度になりますが、西小沢小学校について、幸久小や佐竹小などの峰山中学校区の小学校との統合について検討を進めていきたいと考えております。西小沢小については、平成33年度には複式学級が2学級できることが想定されていますが、今後、新入学児童が10人以下になる状

況が数年続くことも想定されます。社会増減も加味しながら児童生徒数の把握を慎重に行う必要がありますが、小規模化への加速が急なものとなることも想定にしながら、地域の歴史的背景を踏まえ、峰山中学校区の小学校との統合について基本的な考え方としながら、検討を進めていきたいと考えております。

続いて、中長期的統廃合ですが、郡戸小学校、幸久小学校、世矢中学校、金郷幼稚園、世矢幼稚園、久米幼稚園、以上について統合の検討が必要となってくるということで計画に掲載をしております。中長期的統合の検討については、今後将来、児童生徒数の流動的な状況が予想されます。またそれぞれの学校区において、小規模校区となっていますので、社会増減数の増減により複式学級が生じるか生じないか？学級編成の決まり方も非常に流動的となることが想定されます。これらについては、市が実施する子育て支援施策や定住促進施策等の成果を踏まえながら、将来の児童生徒数の推移、人口の社会増減等を的確に把握しながら慎重に議論を進めていくべきものと捉えているところであります。

最後に、学校施設の整備、空調設備の導入の方向性についてですが、これまで実施してきた各学校教室の室温測定、学校教職員の現場としての意見を踏まえ、学校施設検討協議会でも議論をしてきましたが、最終的には、その方向性として、全部の普通教室に天井や壁への固定型扇風機を設置していくこと、またそれぞれの学校の実情に応じて、必要性の高い特別教室にエアコンを設置していく方針としております。特別教室の場合、図書室への設置要望が高いものと考えられますが、それぞれの実情に応じ、個別の計画を立てながら順次実施していきたいと考えております。

また、当面の校舎大規模改造工事計画についても掲載しております。校舎、トイレの改修につきましては、多額の工事費を必要とするところであります。国の学校施設環境改善交付金を活用しながらの計画となるかと思いますが、国の予算が非常に厳しい現実となっています。このことについては、老朽化の激しいところからということで計画的に行いたいと考えていますが、今後も引き続き、関係部課等と連携しながら、国・県に対し、要望をし、できるだけ早期に改修が進むようにしていきたいと考えています。

早期的統廃合ですが、その中で早急に取り組を進めなければならないこととして、水府地区の小中学校の統合がございます。これについては、先日、それぞれの学校のPTA役員と学校長、教頭を含め、統合に係る懇談会を開催してきたところです。今後はいろいろな意見調整を図り、保護者全体の懇談会・説明会、さらには、地区住民への説明会、保育所や幼稚園を利用されている保護者の皆様等、順次、説明の機会を設け、多方面からの意見を調整しながら進めていく考えであります。

(市長)

ただいま、(1)「常陸太田市学校施設整備計画について」事務局から説明がありました。皆様からご意見ご質問等があれば発言をお願いいたします。

水府地区の学校統廃合が早急に考えなければならない状況であると考えます。といいますのは、地区の正副町会長連絡協議会等において意見を聴取する機会がありますが、地区の方々からは、このよ

うな機会においても、少子化への懸念が上げられており、山田小と水府小の統合が課題であるということになっているようです。里美地区で小学校と中学校の併設型の連携教育がされていますが、地区の方々も里美小・中学校のイメージが既に出来上がっているように感じます。

(教育次長)

先日の保護者役員懇談会においても、役員からは、ここまでの少子化が進行しているとは思っていませんでした・・・というのが感想であったようです。

(教育長)

計画書の6ページ、早期的統廃合の水府小と山田小の統合ですが、それぞれ表にあるように平成27年度と平成33年度では、児童数が大幅に減少していくことが予想されます。現在、水府小では複式学級が1学級あり、平成30年度には2学級、平成31年度も2学級できることが予想されています。平成33年度になって表にあるように水府小が児童数46人に対し複式学級が1、山田小は児童数52人に対し複式学級が2ということで、児童数が少ない方の水府小が複式1で多い方の山田小が複式2となっていますが、このあたりは上下の学年との人数構成の関係で、そうなるものです。いずれにしても、実際の児童数ということになりますと、年々少しずつ児童数の減少が予想されます。

(市長)

適正規模はありますでしょうが、児童生徒数が多い方が教育効果は上がるものと思います。水府地区については統合により教育効果を上げていってもらいたいし、そのためにも、統合に合わせ小学校の建設も検討していくことになるかと考えています。また、計画書にあるように西小沢小学校も児童数が減少していくことが予想されます。また水府幼稚園の園児数も減少していきます。このことは、統廃合の大きな検討課題となるのですが、どこの場所を使うのかが非常に重要な問題です。例えば、水府幼稚園とすいふ保育園の認定こども園への移行を進めた場合、保育園対象の家庭は保護者共働きが想定されるわけでありまして、例えばですが、新しくこども園を設置する場合、その設置場所によっては通勤経路と逆行した園児の送迎が起こることも考えられます。さくら保育園ができる前の保育園入園希望児童は約690人でしたが、今は817人、約120人の需要が伸びています。どこも定員オーバーの状況でして、定員の円滑化制度により定員を超過して入園させていたりしますが、それでも待機児童数はいるものです。今は求職中のための保育園希望者も多くあり、保育ニーズが高くなっている傾向にあります。就学前の子どもの保育教育環境の整備ということでは、認定こども園の議論は時間的余裕がないものになっています。

(教育長)

13ページには、早期的統廃合の計画ということで掲載してあります。その中に、平成30年度の認定こども園設置計画も記載してあります。13ページにある計画、あるいは18ページにある改修計画で大筋考えていきたいと思っています。

(市長)

それでは、他にご意見等がありますか？統廃合の考え方については前もそうでしたが金砂郷地区・

水府地区・里美地区についての各地区には小・中学校をそれぞれ最低1校ずつは残す考え方であり、今もそれは変わっていません。しかしながら、一方では少子化により児童生徒数が極端に減少となった場合、学校教育は子どもたちにとってどうあるべきか？考えなければならない問題となってきます。現時点ではそうならないよう、子育て支援や定住促進などの施策を行い、少子化対策を行っていく、併せて出生数の増を図る対策とともに、転出を抑制していく取組が重要となってきます。

(委員長)

水府地区の小中学校についてありましたが、施設の老朽化もあり学校建設も課題となってくると思います。参考までに、学校を新しく建設しようと考えた場合、早くて何年かかるものなのでしょうか？

(教育総務課長)

一般的に言いますと、校舎建築基本設計と実施設計と2つのものがあります。それぞれに1年から1年半程度を期間として見込んでいるところです。ただ、今回のケース、水府小学校が今年度既に複式学級が生じていること、2年後の平成30年度には複式学級が2学級できることが想定されること、これらを考えますと、基本設計と実施設計の2つを合わせて、1年程度で進行できないか？と考えているところでもあります。ですので、今年度は、統合に当たっての懇談会や説明会を通して大筋の合意形成、来年度に基本設計実施設計、再来年度30年度に統合し、同時に校舎建築工事を開始させたい考えです。校舎の竣工、平成31年となることが想定されます。

(市長)

その他、教育委員さん、教育委員会事務局の方から何かありますか？

(教育次長)

今年度、今後の本会議の予定について説明します。

本日は、学校施設整備計画ということで協議をいただきましたが、今後はこのような大筋の方向性について、すでに始まっていますが、各学校の保護者の方、地域の町会長、公民館館長、保育所幼稚園の保護者の方等に対し、順次懇談会説明会頭を開催していきます。この進捗状況、経過の報告について2回目の会議案件として開催したいと考えています。

また、現在、教育総務課においては、企画課が主となり行っている市の公共交通網形成計画に伴う路線バスの再編にあたり、菅田小学校と機初小学校の通学バスをスクールバスから路線バスへの移行について調整をしております。保護者の皆様からはいろいろな意見が出されていますが、理解を得ながら調整を進めていますので、この辺の状況も含めまして報告ができればと考えています。

具体的にいつ頃開催？というのは未定であります。開催にあたっては皆様に事前にお知らせいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(市長)

その他、意見等がありますか？ないようでありましたら、本日の協議案件は以上でありますので、進行を事務局にお返しいたします。

(教育次長)

ありがとうございました。先ほど説明のとおり、今後は、学校統廃合、空調設備の導入、また、校舎の大規模改修やトイレの改修など、進めていきたいと考えています。何か意見がありましたら、随時事務局の方までご意見を出していただきますようお願いいたします。以上をもちまして平成28年度第1回総合教育会議を終了といたします。ありがとうございました。

平成28年度第1回総合教育会議 名簿

(構成員)

	氏 名	役 職 等
1	大久保 太一	常 陸 太 田 市 長
2	小 林 憲 男	教 育 委 員 会 委 員 長
3	佐 川 美 都 里	教育委員会委員長職務代理者
4	大 金 隆 子	教 育 委 員 会 教 育 委 員
5	稲 田 昌 孝	教 育 委 員 会 教 育 委 員
6	中 原 一 博	教 育 委 員 会 教 育 長

(教育委員会事務局)

	氏 名	役 職 等
1	菊 池 武	教 育 次 長
2	江 尻 伸 彦	教 育 総 務 課 長
3	西 連 寺 有	指 導 室 長
4	関 勝 仁	生涯学習課長兼生涯学習センター館長
5	大 畠 敬 一	文 化 課 長
6	木 村 久 男	ス ポ ー ツ 振 興 課 長
7	金 澤 栄	図 書 館 長
8	増 山 泉	学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長

(庶務)

	氏 名	役 職 等
1	弓 野 政 人	教 育 総 務 課 課 長 補 佐
2	大 須 賀 真 吾	教 育 総 務 課 企 画 総 務 係 長